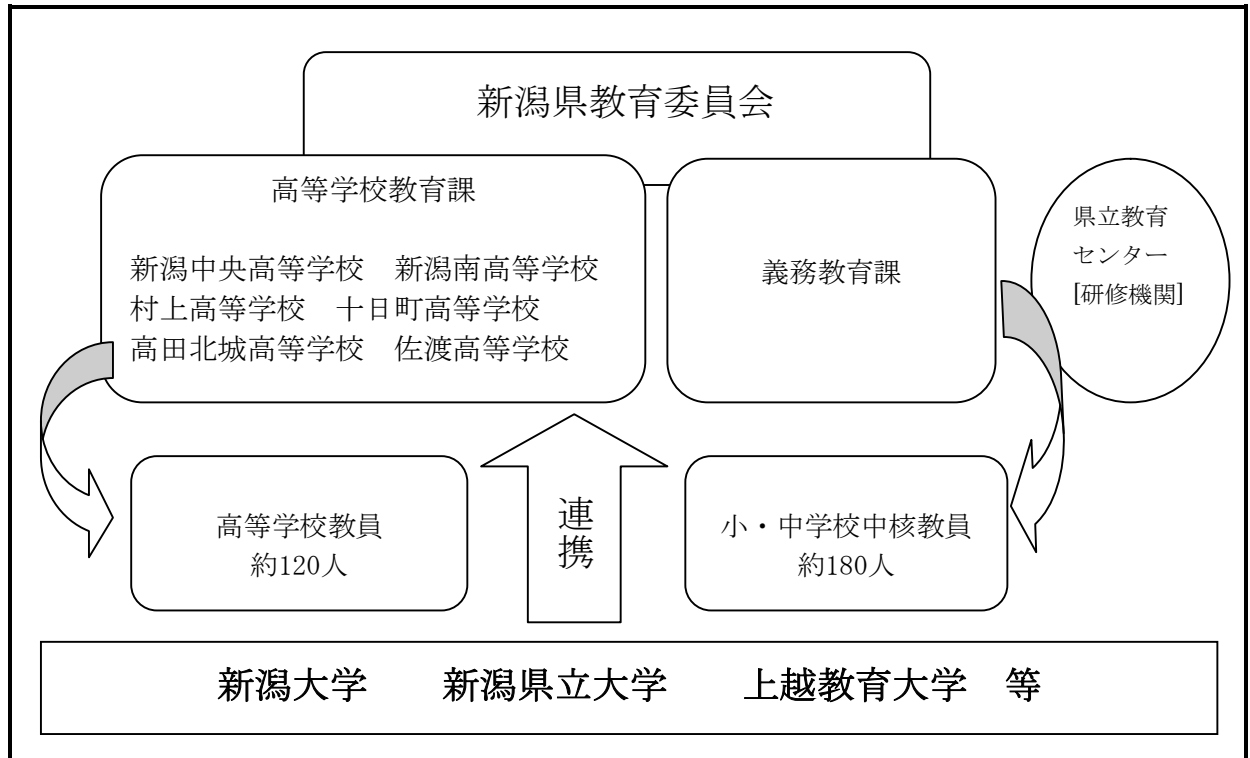


新潟県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



○英語教育推進リーダーについて

- ・小学校の推進リーダーは3地区から3名選出
胎内市（下越地区） 見附市（中越地区） 上越市（上越地区）
- ・中学校の推進リーダーは2地区から2名選出
村上市（下越地区） 上越市（上越地区）
- ・高等学校の推進リーダーは1地区から1名選出
中越地区

※小・中学校の推進リーダーは研修実習を終了し、平成29年度は外国語教育担当教員研修集会において講師を務める。

※高等学校の推進リーダーは平成30年度に研修実習を実施する。
域内研修は平成28年度までの推進リーダーが4地区5カ所で実施する。
新潟市（新潟・下越地区）（2） 十日町市（中越・魚沼地区）（1）
上越市（上越地区）（1） 佐渡市（佐渡地区）（1）

(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理（平成25～28年度は達成値）

域内の全中学校及び全高等学校における

① 求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合

中学校教員

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
27.8%	28.9%	30.6%	32.8%	50%

高等学校教員

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
57.9%	60.2%	58.7%	59.6%	75%

② 求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合（中学校第3学年、高等学校第3学年）

中学校第3学年（英検3級程度以上）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
26.8%	27.8%	28.9%	28.8%	50%

高等学校第3学年（英検準2級程度以上）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
27.7%	30.6%	35.2%	38.9%	50%

③ 「CAN-DOリスト」形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

中学校

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設定	13.8%	23.9%	31.6%	70.5%	100%
公表	1.1%	1.7%	14.0%	5.5%	100%
達成状況把握	7.7%	10.6%	45.6%	18.6%	100%

高等学校

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設定	8.1%	95.0%	100%	100%	100%
公表	2.0%	23.0%	27.0%	32.2%	100%
達成状況把握	6.1%	40.0%	57.0%	50.0%	100%

④ 授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合（使用率50%以上）

中学校

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
46.0%	47.0%	68.7%	76.4%	100%

高等学校

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
33.2%	35.8%	39.9%	47.7%	90%

⑤ 「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況（回）

中学校（スピーキングテスト）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
—	—	2.9	2.5	6

中学校（ライティング）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
—	—	2.0	1.6	4

高等学校（スピーキングテスト）5科目平均

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
—	—	0.7	0.9	2

高等学校（ライティングテスト）5科目平均

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
—	—	0.7	1.1	2

⑥ 授業における、英語担当教員の英語使用状況（使用率 50%以上）

中学校

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
41.7%	—	61.9%	61.8%	100%

高等学校

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
45.7%	—	42.0%	42.3%	100%

域内の全小学校における

⑦ 相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
—	—	—	—	30%

域内の全ての学校における

⑧ 研修実施回数、研修受講者の人数

小学校（延人数）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	2回	6回	3回	5回
受講者数	114人	136人	116人	200人

中学校（延人数）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	2回	6回	3回	3回
受講者数	234人	125人	114人	200人

高等学校（延人数）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	6回	44回	49回	50回
受講者数	240人	161人	184人	300人

<目標を達成するための具体的手立て>

- 「CAN-DOリスト形式の学習到達目標」
 - ・CAN-DOリストの活用について、県立教育センターと連携し、研修等を実施していく。
(CAN-DOリストを活用した授業改善講座)

- 「生徒の英語使用機会」「教員の英語使用状況」について
 - ・中学校における「英語で授業を行うことを原則とする」という新学習指導要領の着実な実施に向け、高等学校とともに、研修において継続して「生徒の英語使用」及び「教員の英語使用状況」を上げるよう指導していく。特に、「生徒の英語使用」が「授業は英語で行うこと」につながることを伝えていく。
(校長研修会、副校長・教頭研修会、初任者研修、教職5年経験者研修、教職12年経験者研修、教科指導ジャンプアップ研修、教科指導ステップアップ研修、各教科等研究協議会等)

- 「教員の英語力」について
 - ・研修等において、未取得者に対して英語力の向上及び取得に向けた指導を継続して行う。
(初任者研修、教職5年経験者研修、教職12年経験者研修、教科指導ジャンプアップ研修、教科指導ステップアップ研修、各教科等研究協議会等)
 - ・高等学校においては、平成30年度までの4年間で全ての英語教員にTOEIC IPを受験させることとしている。(高等学校英語教員指導力向上研修)

- 「生徒の英語力」について
 - ・研修等により教員の授業改善を進め、生徒の英語力向上を図るほか、生徒に外部検定試験の受験を促していく。中学校においては、生徒の英語力を把握するため、県内の中学校で実施しているweb配信問題に英検3級レベルの問題を出題するとともに、抽出校において生徒(555人)にGTECを実施し、結果の分析から課題を把握し、授業改善に生かしていく。

- その他
 - ・義務教育課・高等学校教育課で県全体の目標の明確化と共有を図り、各学校の管理職の指導のもと、教師の英語力、英語指導力向上に対する取組を教育センターとともに支援していく。
 - ・指導主事ができる限り授業参観を行い、授業改善に向けた取組を各学校で促す。
 - ・研修協力校に対して英検やGTEC等の活用を促し、生徒の英語力を分析し、指導主事が訪問するなどして指導・助言を行う。

(3) 研修の体系と内容の具体

○研修の体系と具体	
研修対象者	小学校・中学校の外国語教育担当教員（指名）
研修の目的・内容	◎外国語教育担当教員研修集会 【目的】 外国語教育における小中学校の円滑な接続と生徒の英語力向上を目指し、外国語教育担当者の指導力向上を図る。 【内容】 英語教育推進リーダーによる授業改善のためのワークショップ及び外部講師を招聘し、演習を行う。
研修の評価方法	事後アンケート
外部専門機関との関わり	新潟大学・新潟県立大学・上越教育大学の教授等を招聘
研修対象者	高等学校の英語担当教員（指名・希望）
研修の目的・内容	◎高等学校英語指導力向上研修 【対象】 ・各地区の対象校の英語担当教諭 【内容】 ・英語教育推進リーダー（5名）をトレーナーとし、「理論と演習」「授業改善」「英語力向上」等をテーマに研修を行う。 ・英語教育推進リーダーの中央研修の成果をこの研修に反映させる。（計14時間） ・外部専門機関と連携して、教員の英語指導力向上を図る。 ・英語教員の英語力を外部検定試験により測定する。 （TOEIC 全員受検 8月実施予定） ・各地域の英語教育の連携を強化する。 【講義・演習のテーマ】 例：「評価方法の改善について」 “Improving your English & teaching skills” ・県内4地区（新潟市・十日町市・上越市・佐渡市）で開催する。
教師の英語力を測るテストの実施	実施予定：TOEIC IP を利用し、自己の英語運用能力の伸長を確認・分析する。
研修の評価方法	アンケート、個別課題、研修前後の授業の撮影と分析 等
外部専門機関との関わり	新潟大学・新潟県立大学・上越教育大学の教授等を連携協力者として招聘 ・招聘予定者 新潟大学 グレゴリー・ハドリー教授 新潟県立大学 ハワード・ブラウン准教授
研修協力校との関わり	研修会の会場の提供 授業参観 等

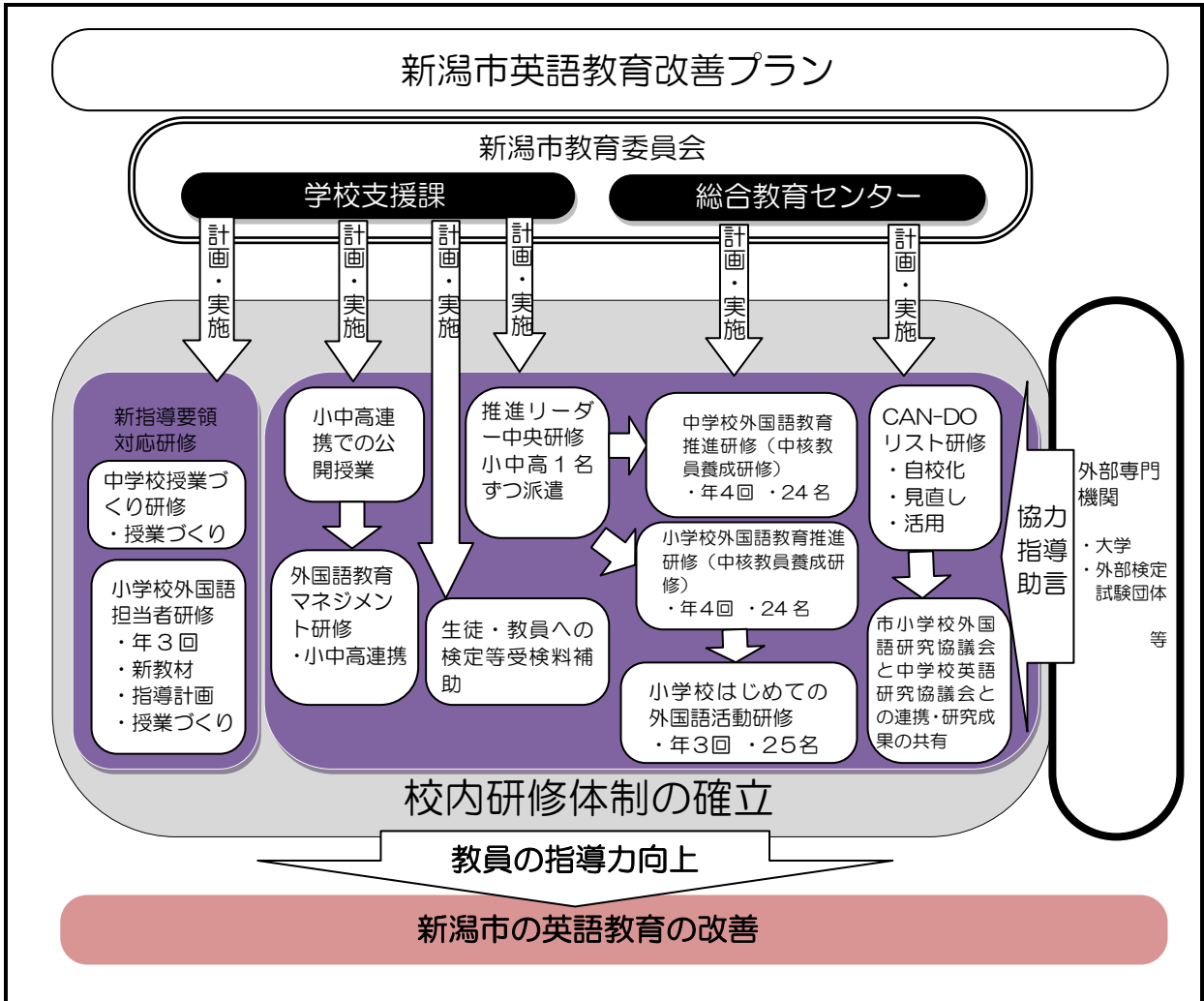
(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加者報告（中旬） ・研修参加者決定（下旬） 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・「外部検定試験の活用について」 →各校宛に英語担当教員の外部検定試験の活用を依頼する。 ・第1回英語教育中核者研修（小学校・中学校）【上・中・下越地区】 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動実践講座【全県】 ・第1回高等学校英語指導力向上研修【5会場】 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回高等学校英語指導力向上研修【5会場】 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回英語教育中核者研修（小学校・中学校）【上・中・下越地区】 ・第1回外国語教育担当教員研修集会【上・中・下越地区】 ・第3回高等学校英語指導力向上研修【5会場】 (TOEIC IP 受験) 	外部専門機関から講師を招聘（3地区）
9月		
10月		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回英語教育中核者研修（小学校・中学校）【上・中・下越地区】 ・第2回外国語教育担当教員研修集会【上・中・下越地区】 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回高等学校英語指導力向上研修【5会場】 	外部専門機関から講師を招聘（5会場）
1月		
2月		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度英語教育推進リーダー打合せ 	
【その他の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中高連携による英語指導力改善（村上高校、十日町高校、佐渡高校及びそれぞれの周辺小・中学校） 		

新潟市英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

市内の全中学校及び全高等学校における

①求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合

○英語教育の状況を踏まえた目標管理

中学校教員

平成27年度	平成28年度	平成29年度
27.4% (実績)	28.5% (実績)	40%

高等学校教員

平成27年度	平成28年度	平成29年度
45.8% (実績)	47.6% (実績)	55%

②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

中学校第3学年

平成27年度	平成28年度	平成29年度
33.7% (実績)	30.9% (実績)	40%

高等学校第3学年

平成27年度	平成28年度	平成29年度
38.2% (実績)	67.1% (実績)	70%

③「CAN-DO リスト」形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況

中学校

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設定	71.9% (実績)	100% (実績)	100%
公表	5.3% (実績)	7.1% (実績)	50%
達成状況の把握	22.8% (実績)	76.8% (実績)	90%

高等学校

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設定	75% (実績)	100% (実績)	100%
公表	0% (実績)	33.3% (実績)	50%
達成状況の把握	0% (実績)	33.3% (実績)	50%

④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合（使用率50%以上）

中学校

平成27年度	平成28年度	平成29年度
70.8% (実績)	71.6% (実績)	75%

高等学校

平成27年度	平成28年度	平成29年度
26.9% (実績)	46.2% (実績)	50%

⑤「話すこと」及び「聞くこと」における「外国語表現能力」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

スピーキングテスト 中学校

平成27年度	平成28年度	平成29年度
2.27回 (実績)	2.18回 (実績)	3回

スピーキングテスト 高等学校（コミュニケーション英語Ⅰ）

平成27年度	平成28年度	平成29年度
0回 (実績)	1.67回 (実績)	2回

スピーキングテスト 高等学校（コミュニケーション英語Ⅱ）

平成27年度	平成28年度	平成29年度
0回 (実績)	2回 (実績)	3回

スピーキングテスト 高等学校（コミュニケーション英語Ⅲ）

平成27年度	平成28年度	平成29年度
0回 (実績)	0.33回 (実績)	2回

スピーキングテスト 高等学校（英語表現Ⅰ）

平成27年度	平成28年度	平成29年度
0.67回 (実績)	2回 (実績)	3回

スピーキングテスト 高等学校（英語表現Ⅱ）

平成27年度	平成28年度	平成29年度
0回 (実績)	2.67回 (実績)	3回

ライティングテスト 中学校

平成27年度	平成28年度	平成29年度
1.87回 (実績)	1.85回 (実績)	3回

ライティングテスト 高等学校 (コミュニケーション英語Ⅰ)			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
0回 (実績)	0.3回 (実績)	2回	
ライティングテスト 高等学校 (コミュニケーション英語Ⅱ)			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
0回 (実績)	0回 (実績)	2回	
ライティングテスト 高等学校 (コミュニケーション英語Ⅲ)			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
0回 (実績)	0.67回 (実績)	2回	
ライティングテスト 高等学校 (英語表現Ⅰ)			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
0.25回 (実績)	2回 (実績)	2回	
ライティングテスト 高等学校 (英語表現Ⅱ)			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
0.25回 (実績)	2.33回 (実績)	2回	
⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況 (使用率50%以上)			
中学校			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
61.2% (実績)	74.1% (実績)	90%	
高等学校			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
30.8% (実績)	39.5% (実績)	50%	
⑦市内の全小学校における相応の英語力を有する教員の全教員に占める割合			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	
⑧市内の全ての学校における研修実施回数, 研修実施回数, 研修受講者の人数			
小学校			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	7回 (実績)	9回 (実績)	10回
受講者数	288人 (実績)	334人 (実績)	350人
中学校			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	9回 (実績)	9回 (実績)	10回
受講者数	456人 (実績)	558人 (実績)	600人
高等学校			
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施回数	0回 (実績)	4回 (実績)	4回
受講者数	0人 (実績)	6人 (実績)	10人
〈目標を達成するための手立て〉			
(1) 小・中・高等学校の研修協力校での公開授業を核にした研修			
① 小・中・高等学校の研修協力校が、学習到達目標 CAN-DO リストをもとに公開授業を行い、学習到達目標 CAN-DO リストの信頼性と妥当性を高めるとともに、市小学校外国語研究協議会や中学校英語研究協議会の研修組織と連携し、成果と課題をもとにして、改善を図			

っていく。

- ② 外国語教育マネジメント研修会において、研修協力校の実践発表を行い、全小中高等学校に成果と課題を伝達し、CAN-DO リストの見直しと改善を図る。
- ③ 公開授業や外国語教育マネジメント研修において、外部専門機関から、小・中・高連携に焦点をあてた指導を受けることで、CAN-DO リストの活用や周知についての価値付けと今後の方策についての研修を行い、教員の意識を高め、指導力の向上を図る。

(2) 4 技能にかかわっての評価研修会の実施

- ① 外部試験団体と連携し、スピーキングのパフォーマンス課題とその評価についての研修を行うことで、自校の CAN-DO リストの見直しと改善を図る。
- ② 生徒の英語力判定テストを抽出校で実施し、生徒の英語力向上に向けた授業改善に生かす。

(3) 外部検定を取り入れた組織的な取組

- ① 小学校教員と中・高等学校の英語科教員を対象に英語検定等受検料を補助し、英語力向上の自己研修を強く促す。
- ② 研修協力校等の中学校・高等学校の抽出生徒において、英語検定等を実施し、生徒の英語力向上に向けた授業改善に生かす。昨年度の数値をもとにした授業改善の計画 (Plan) → 授業改善の取組 (Do) → 英語検定 (Check) → 中間評価をもとに授業改善 (Action) となるよう、データをもとに年間で計画立てる。
- ③ 教育委員会と研修協力校、外部専門機関で協議する機会を設定し、PDCA サイクルに乗っ取って組織的に取り組めるようにする。

(4) 中核教員研修の組織的な取組

- ① 中学校においては、平成 31 年度までに全ての英語科教員が推進リーダーの講座を受講し、英語力と英語指導力の向上を図る。
- ② 小学校においては、平成 31 年度までに全ての学校の中核教員が推進リーダーの講座を受講し、地域で伝達講習を行ったり、校内研修の充実を図ったりする。

(5) CAN-DO リスト研修の充実

- ① CAN-DO リストの作成は 100% であることから、4 月の CAN-DO リスト研修において、利用率と公表率を高めることを課題とし、活用や公表の具体的な方途について共有し、8 月の中学校授業づくり研修会において、その時点での各校の利用率と公表率を把握し、改善を図る。
- ② 市小学校外国語研究協議会や中学校英語研究協議会と CAN-DO リスト実態把握と実践の共有を図る。

(3) 研修の体系と内容の具体

【小学校教員】

(リーダーを養成するための研修)

小学校外国語教育推進研修 (指名 24 名) * 30 年度も同じ研修を実施予定

第 1 回 5 月 31 日 (水) 第 2 回 6 月 30 日 (金)
 第 3 回 7 月 31 日 (月) 第 4 回 8 月 10 日 (木)

英語教育推進リーダーをトレーナーとして、中央研修の伝達講習を行い、各学校及び地域の外国語教育を推進する。

【検証方法】

・研修の評価方法 アンケート 個別課題

- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

小学校外国語新指導要領対応研修（指名 107名）＊30年度も同じ研修を実施予定

第1回 8月7日（月） 第2回 10月20日（金） 第3回 1月31日（水）

全小学校外国語担当を対象として、平成30年度31年度の先行実施に対応する研修を行う。

【検証方法】

- ・研修の評価方法 アンケート 個別課題
- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

（希望者全員を対象とした英語力・英語指導力の向上を目的とした研修）

はじめての外国語活動研修（希望 100名）＊30年度も同じ研修を実施予定

9月13日（水） 9月22日（金） 9月28日（木）

小学校外国語教育推進研修受講者を講師として、外国語活動の経験が浅い教員を対象とした指導力向上を目的とした研修を行う。

【検証方法】

- ・研修の評価方法 アンケート
- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

（校内の組織体制の整備・校内研修の推進を目的とした研修）

外国語教育マネジメント研修（指名 各校外国語活動主任108名・外国語主任57名）

11月30日（木） ＊30年度も同じ研修を実施予定

各学校の外国語教育を推進するための校内体制の組織、校内研修の実施等について理解を深める。校種別研修・研修協力校の実践発表・小中高連携の取組に関する研修等を行う。

- ・英語力評価テストの実施 中・高の研修協力校の抽出生徒
- ・研修の評価方法 アンケート
- ・外部専門機関とのかかわり 大学教授を講師として招聘し、指導を受ける。
- ・研修協力校とのかかわり 公開授業と実践発表

【中学校教員】

（リーダーを養成するための研修）＊30年度も同じ研修を実施予定

中学校外国語教育推進研修（指名 24名×2グループ）

<Aグループ>

第1回 5月8日（月） 第2回 7月31日（月） 第3回 12月26日（火）

<Bグループ>

第1回 8月2日（水） 第2回 8月4日（金） 第3回 8月10日（木）

英語教育推進リーダーをトレーナーとして、中央研修の伝達講習を行い、各学校及び地域の外国語教育を推進する。

- ・英語力評価テストの実施 英検 英語力判定テスト
- ・研修の評価方法 アンケート 個別課題
- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

（英語力・英語指導力の向上を目的とした研修）＊30年度も同じ研修を実施予定

中学校英語指導力研修（指名 50名）

第1回 5月26日（金） 第2回 10月23日（月）

中学校外国語科教員を対象とし、英語力・英語指導力の向上を目的とした研修を行う。英語力向上の内容も取り入れる。英語検定等受検料の補助を行い、自己研修を強く促す。

- ・英語力評価テストの実施 英検 英語力判定テスト
- ・研修の評価方法 アンケート 個別課題
- ・外部専門機関とのかかわり 大学教授 英語検定協会関係者 ベネッセコーポレーション

- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

中学校授業づくり研修会（指名 市内全外国語科教員全員 190名）

8月21日（月）22日（火） *30年度も同じ研修を実施予定

設定した目標を達成する授業づくりの具体的な研修を行い、実際の授業実践に生かす。

- ・研修の評価方法 アンケート 個別課題 抽出校における生徒の英語判定力テスト
- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

（校内の組織体制の整備・校内研修の推進を目的とした研修）

CAN-DO リスト研修（指名 中学校外国語主任 58名）

4月21日（金）

各校の CAN-DO リストについて、実際の指導と評価に生かせるように研修を行う。

- ・研修の評価方法 アンケート 個別課題
- ・研修協力校とのかかわり 授業参観

【高等学校教員】

市内に市立高校2校，市立中等教育学校が1校ある。平成29年度までに権限移譲が行われ，平成29年度から中学校対象の研修に高等学校も希望制で参加する形で行う。また平成29年度は，高等学校からも推進リーダーを派遣する予定である。

【研修協力校】

設定した目標を達成するための授業研究に取り組み，積極的に授業公開を行うことにより成果を広める。研究の成果を市内全校の中核教員が参加する「外国語教育マネジメント研修」で発表し，各学校での取組を更に推進する。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	○中学校・高等学校 CAN-DO リスト研修会	
5月	○中学校英語指導力研修① ●小学校外国語教育推進研修① ○中学校外国語教育推進研修A-① ※研修協力校との事業推進協議会	・新潟大学 松沢 伸二教授 ・新潟大学 松沢 伸二教授
6月	●小学校外国語教育推進研修②	
7月	●小学校外国語教育推進研修③ ○中学校外国語教育推進研修A-②	
8月	●小学校外国語教育推進研修④ ●小学校外国語新指導要領対応研修① ○中学校外国語教育推進研修B-①②③ ○中学校授業づくり研修会 ※研究協力校の合同研修会	・新潟大学 松沢 伸二教授
9月	●小学校はじめての外国語活動研修	
10月	○中学校英語指導力研修② ●小学校外国語新指導要領対応研修② ◎研修協力校による公開授業	・ベネッセコーポレーション ・新潟大学 松沢 伸二教授 ・琉球大学 大城 賢教授
11月	◎外国語教育マネジメント研修 ○抽出校による外部検定試験実施	・新潟大学 松沢 伸二教授
12月	○中学校外国語教育推進研修A-③	
1月	●小学校外国語新指導要領対応研修③ ※研修協力校との事業推進協議会	・新潟大学 松沢 伸二教授
2月	◎全国連絡協議会において実践発表	
3月		
【その他の取組】		

